

# 畜産農家支援を

答 定期的に訪問し、  
必要に応じて検討する



西銘 多紀子 議員

**問** 畜産農家経営支援事業応援金の支払状況はどうか。  
**副町長** 執行率は78%である。

**問** 支払状況が遅れているのはなぜか。

**産業振興課長** えさ代の算出に追加できる分が判明し、改めて積算等が必要になった。

**問** 査定額に対する行政側と農家の差、和牛農家の現状を把握していないのではないか。  
**産業振興課長** 話を伺う機会が不足したことが要因、今後定期的に訪問するよう指示をしている。

**問** 和牛子牛競り価格の下落が長引いているが、町は具体的な対策をどう講じる考えか。  
**副町長** 沖縄県が和牛子牛価格安定特別対策事業を実施しており、状況を注視している。

**問** 農家は生き物を相手に365日休みなく働いている。県内子牛価格は4月から下落

を続け過去10年で最低の価格である。今後の価格下落も予想されるが改めて町独自の支援計画はどう考えるか。

**産業振興課長** 今後も注視し、他市町村がどのような補助を行うか、随時状況把握に努める。

**問** 和牛子牛セリ価格下落に対し、町として沖縄県や南部市町村会へ要請等を行うべきと考えるがどうか。

**副町長** 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業が実施されていることから、現時点での要請は考えてない。今後の状況を注視し必要に応じて検討する。



牛舎の様子

がん患者へのウィッグ・  
下着購入費助成制度を

**問** がん患者へのウィッグ購入及び下着購入費助成制度の導入をしてほしい。

これをアピアランスケアといい、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて外見の変化に起因する患者の苦痛を軽減するケアである。特に薬物療法による脱毛や乳がん治療による乳房の形状の変化は心身共に与える影響が大きい。10月から糸満市、浦添市でもアピアランスケア事業が始まる。がんは日本人の2人に1人がかかる。心理的及び経済的負担を軽減し療養生活の質の向上や就労等の社会参加を促進するために必要と考えるがどうか。

**国保年金課長** がんと共生する環境づくりに向け、導入に向けて取り組む。